

2009年度 情報検索応用能力試験

1級 試験問題(後半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
また、「前半試験で選択した専門分野番号」欄に、前半試験で選択した専門分野番号を必ずご記入下さい。

専門分野番号	専門分野名
1	ビジネス
2	特許
3	化学
4	ライフサイエンス
5	総合

記入のない場合は、採点対象となりませんのでご注意ください。

3. 解答時間は、15：15～16：15の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は共通問題2問、専門問題各1問、全13ページ、解答用紙は8ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

p. 3 から p. 5 は共通問題です。

すべての受験者の方が、解答してください。

共通問題

問2 エンドユーザー検索用として、全社に開放する商用データベースシステムの導入を検討している。以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 商用データベースシステムの選択にあたり、考慮すべきポイントを5つあげなさい。
- (2) 導入前に試用する際、チェックしておきたい機能を5つあげなさい。
- (3) 導入後に行う事を5つあげなさい。

問3 以下の文章は Google ブック検索に関して述べられたものである。これを読んで、以下の設問に答えなさい。

- (1) アンダーラインの段落を日本語で説明しなさい。
- (2) 米国作家協会と米国出版社協会の起こした訴訟に対してGoogleの反論の趣旨を説明しなさい。
- (3) 米国作家協会などが起こした訴訟の和解内容についてポイントを3つあげなさい。

※注 inception : 開始 infringement : 侵害、違反 participant : 参加者
plaintiff : 原告 sue : 訴訟する

Google Book Search

Google Book Search is a tool from Google that searches the full text of books that Google scans, converts to text using optical character recognition, and stores in its digital database. The service was formerly known as Google Print when it was introduced at the Frankfurt Book Fair in October 2004.

Number scanned

By March 2007, Google had digitized one million books, according to the The New York Times at an estimated cost of US\$5 million. On October 28, 2008, Google stated that they had 7 million books searchable through Google Book Search, including those scanned by their 20,000 publisher partners. Of the 7 million books, 1 million are "full preview" based on agreements with publishers. 1 million are in the public domain. Most scanned works are no longer in print or commercially available.

Google Books Library Project participants

The number of participating institutions has grown since the inception of the Google Books Library Project; The University of Mysore has been mentioned in many media reports as being a library partner. They are not, however, listed as a partner by Google.

Copyright infringement, fair use and related issues

The publishing industry and writers' groups have criticized the project's inclusion of snippets of copyrighted works as infringement. In the fall of 2005 the Authors Guild of America and Association of American Publishers separately sued Google, citing "massive copyright infringement." Google countered that its project represented a fair use and is the digital age equivalent of a card catalog with every word in the publication indexed. Despite Google taking measures to provide full text of only works in public domain, and providing only a searchable summary online for books still under

copyright protection, publishers maintain that Google has no right to copy full text of books with copyrights and save them, in large amounts, into its own database.

The Authors Guild, the publishing industry and Google entered into a settlement agreement October 28, 2008, with Google agreeing to pay a total of \$125 million to rights holders of books they had scanned, to cover the plaintiff's court costs, and to create a Book Rights Registry. The settlement has to be approved by the court, which will occur some time after May 2009. Reaction to the settlement has been mixed, with Harvard Library, one of the original contributing libraries to Google Library, choosing to withdraw its partnership with Google if "more reasonable terms" cannot be found.

ここからは専門問題です。

前半試験において選択した専門分野について、解答してください。

専門分野番号	専門分野名
1	ビジネス
2	特許
3	化学
4	ライフサイエンス
5	総合

専門問題：1. ビジネス

問4 ポリプロピレンの企業ランキングを調べたいという依頼を受けた。対象地域は国内と海外である。このような依頼を受けたときの対応として以下の設問に答えなさい。

- (1) 依頼者に確認する事項を5つあげなさい。
- (2) 使用ツールとして考えられる①～③について、それぞれ適切な情報源を具体的にあげて、調査方法を説明しなさい。
 - ①紙媒体
 - ②商用データベース
 - ③インターネット

専門問題：2. 特許

問4 「米国企業であるA社が保有する米国特許（未登録の公開分も含む）のリストが欲しい」という調査依頼に対して、データベースを使ってこの調査を行う場合を想定して、以下の設問（1）～（3）に答えなさい。

- （1）調査を始めるにあたって、まず依頼元に確認することを2つあげなさい。
- （2）公開分に関して留意すべきことを2つあげなさい。
- （3）出願人あるいは権利者の検索を「A社」で行う以外に、調査の精度を高めるための方法を、3つあげて説明しなさい。

専門問題：3. 化学

問4 ポリマー (A) の CAS 登録番号を用いて CAplus ファイルを検索したところ、参考文献としてあげられた文献がヒットしていないことがわかった。索引状況を確認したところ、(B) という形で CAS 登録番号が付与されていた。これらについて以下の設問 (1) ~ (2) に答えなさい。

- (1) (A)、(B) それぞれについて、どのような方針で索引されているのか説明しなさい。
- (2) REGISTRY および CAplus ファイルで、ポリマーに関して検索するときに留意すべき点を、それぞれのファイルごとに 1~2 点、合計 3 点あげ、その理由を説明しなさい。

(A) 26062-94-2

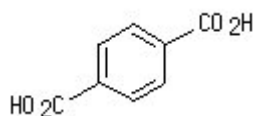
L1 1 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2009 ACS on STN
 IN 1,4-Benzenedicarboxylic acid, polymer with 1,4-butanediol
 MF (C8 H6 O4 . C4 H10 O2)x
 CI PMS, COM

RELATED POLYMERS AVAILABLE WITH POLYLINK

CM 1

HO-(CH₂)₄-OH

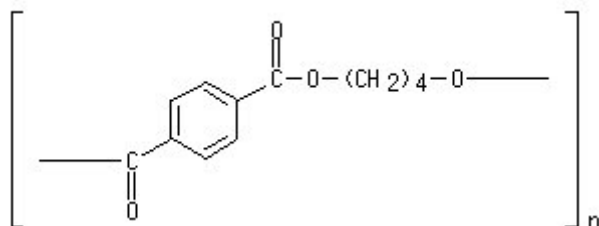
CM 2



(B) 24968-12-5

L2 1 ANSWERS REGISTRY COPYRIGHT 2009 ACS on STN
 IN Poly(oxy-1,4-butanediylloxycarbonyl-1,4-phenylenecarbonyl)
 MF (C12 H12 O4)n
 CI PMS

RELATED POLYMERS AVAILABLE WITH POLYLINK



専門問題：4. ライフサイエンス

問4 あるアミノ酸配列について、関連する情報をできるだけ集めてほしいと依頼された。以下の設問（1）～（3）に答えなさい。

- （1）依頼者に確認すべき重要と思われる点を3つ答えなさい。
- （2）使用するツールとそれを選択した理由を述べなさい。
- （3）具体的な調査方法と注意点を述べなさい。

専門問題：5. 総合

問4 あるテーマについて、日本語文献(雑誌記事)リストを作成する場合に使用するツールについて述べなさい。テーマは具体的なものを自由に設定しなさい。

ただし、取り上げるツールは選択肢の中から2つを選択すること。設定したテーマおよび選択したツールの番号は指定した解答欄に記入しなさい。

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|---------------------|
| 1. CiNii | 2. NDL-OPAC | 3. JDreamII | 4. Web MAGAZINEPLUS |
| 5. 大宅壮一文庫 | 6. EL-NET | 7. 日経テレコン21 | |

なお、記述には以下の各項目を含めること。

- ①選択した2つのツールそれぞれについて、利用条件または方法(複数ある場合は1種類で可)、収録雑誌の概要または特徴、必要であればファイル名の指定
- ②その2つを選択した理由
- ③ツールをもうひとつ追加するとしたら何を選択するか(上記の選択肢にないものをあげてもよい) およびそれを選択する理由

<テーマ参考例>

- ・宇宙旅行：～の技術的課題、～の商業的見通し、小説からみた～
- ・血栓除去手術：～の危険性、～の得意な病院
- ・芸能界麻薬汚染：～関連図、今までの～
- ・卑弥呼の墓：～論争、文献から読む～
- ・〇〇社の経営戦略、経済と人口、環境家計簿、BRICs後の世界経済